

令和2年6月7日

取引先各位

熊本県熊本市南区川尻1丁目3-2 1



代表取締役会長 荒木精吾

代表取締役社長 緒方康夫

文部科学省による「学校における消毒方法等」についての公表 に対するのメーカー公式見解

平素は弊社次亜塩素酸(微酸性)の緩衝法除菌消臭水のエヴァウォーターをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

文部科学省の公表後多くのお問い合わせいただきましたので、メーカーとしての見解記載いたします。

【報道内容について】

今回、警鐘しているのは「消毒薬等」という記載であり、弊社製品は、前回もお知らせしましたように、「緩衝法」という特許製法により製造しており、消毒剤ではない分類で評価されています。また、添付の文部科学省の「次亜塩素酸ナトリウムを使用する際の注意点について(P2)」(添付1)に記載の懸念事項をクリアしている製品であります。

【消毒液(薬事法)】 (WHOが消毒剤を人体に噴霧することは推奨しないとしている。)

- ・アルコール
- ・次亜塩素酸ナトリウム溶液

(消毒剤と呼んでいる次亜塩素酸はこれだと厚労省が見解を出しています。)

【消毒液ではない分類】

- ・次亜塩素酸水（次亜塩素酸ナトリウムとは全く異なるもの）

（エヴァウォーターは、この分類のなかの緩衝法という特許製法で作っています）

※次亜塩素酸水は日本発新しい技術であり、数量も一番多く、新材料であることから

「消毒剤ではない」分類で評価されてきています。 外国への供給は、まだ始まったばかりです。

WHO参加国で、「次亜塩素酸水」が一般的に流通している国は、日本だけです。

【空間噴霧について】

文科省はWHOが「消毒剤を人体に噴霧することは推奨しない」としているためと一部の報道にありましたが、文科省は、WHOの事は一言も書かれておりません。

前回のご案内でも記載いたしましたように、「飲用適」の結果を得ているために、安全性の高い製品と自負しております。弊社としては、引き続き空間噴霧を推奨させていただきます。水道水にも、プールにも次亜塩素酸ナトリウムを使用しています。

今回の報道で学校等においては、空間噴霧が使えないとの事での対応等求められるかと思えます。製品内容を納得いただき、今までと変わらず使用をしていただければ一番良いのですが、一旦は児童のいない時間帯で、噴霧することで室内の除菌を行うという使用方法もある事も進めてみてください。

○次亜塩素酸水の噴霧について

- ・次亜塩素酸水の噴霧器の使用については、その有効性及び安全性は明確になっているとは言えず、学校には健康面において様々な配慮を要する児童生徒等がいることから、児童生徒等がいる空間で使用しないでください。

【名称混同について】

エンドユーザー様が一番わかりづらい勘違いされている箇所かと思えます。

消毒液「次亜塩素酸ナトリウム水溶液」

名前が長く呼びにくいので、日本人特有の短縮した「次亜塩素酸」「次亜塩素酸水」との略称で、一般的に呼ばれてしまった。

その後、次亜塩素酸水が日本の技術で生成され、上記と混同される。

今後、違いを明確にするために、弊社製法等で作られた次亜塩素酸水に新たな名称が必要であると思っております。

【コロナウイルスへの効果について】

他社の製品となりますが、先日の NITE の報道に対して、追加で「次亜塩素酸水」のコロナウイルスへの効果のプレリリースを行っております。『北大研究グループが第二弾発表 「次亜塩素酸水」のウイルス不活化』1つの情報とし参照ください。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000056737.html>

以上

【お問合せ】

096-273-6115

info@parks-japan.com

パークス株式会社 園田まで

FAXで内容が確認しづらい場合は、上記メールにて、「資料請求」とのご連絡
いただきますようお願いいたします。
メールにて、文書送付いたします

学校における消毒の方法等について示しますので、関係各位におかれては御一読をお願いします。

事務連絡
令和2年6月4日

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健担当課
各都道府県私立学校主管部課
各文部科学大臣所轄学校法人
担当課

附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課 御中
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

学校における消毒の方法等について

学校再開に向けた新型コロナウイルス感染症対策等については、令和2年5月22日に発出した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」において、学校の衛生管理上の留意事項を示し、学校における消毒の方法についても言及したところです。

この度、新たな情報を追加しましたので、下記に示す内容を参考にして、学校薬剤師等と連携し、適切な消毒を行っていただきますようお願いいたします。なお、この内容については、後日、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に追加します。

については、都道府県・指定都市教育委員会におかれては所管の学校（高等課程を置く専修学校を含み、大学及び高等専門学校を除く。以下同じ。）及び域内の市区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管部課におかれては所轄の学校法人等を通じて、その設置する学校に対して、国公立大学法人におかれてはその設置する附属学校に対して、文部科学大臣所轄学校法人におかれてはその設置する学校に対して、構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては所轄の学校設置会社及び学校に対して、厚生労働省におかれては所管の高等課程を置く専修学校に対して周知されるようお願いいたします。

記

1. 日常的な消毒について

①消毒薬等について

- ・物の表面の消毒には、消毒用エタノールや0.05%の次亜塩酸ナトリウム消毒液*を使用し

ます。また、一部の界面活性剤で新型コロナウイルスに対する有効性が示されており、それらの成分を含む家庭用洗剤を用いることも有効です。

- ・次亜塩素酸水は、「次亜塩素酸ナトリウム」とは異なるものであり、新型コロナウイルスに対する有効性についてはまだ十分確認されていません。

*児童生徒等には次亜塩素酸ナトリウムを扱わせないようにしてください。

②消毒の方法について

- ・児童生徒等がよく手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）や共用物は1日に1回以上、消毒液を浸した布巾やペーパータオルで拭きます。
- ・トイレや洗面所は、家庭用洗剤を用いて洗浄します。
- ・消毒作業中に目、鼻、口、傷口などを触らないようにしてください。
- ・換気を十分に行います。

○エタノールを使用する際の注意点について

- ・エタノールを布等に含ませ、消毒対象を拭き、そのまま乾燥させます。
- ・揮発性が高く、引火しやすい性質があるため、電気スイッチ等への直接の噴霧は故障や引火の原因になります。

○次亜塩素酸ナトリウムを使用する際の注意点について

- ・次亜塩素酸ナトリウムで消毒する際は、必ず手袋を着用します。なお、ラテックス製ゴム手袋を使用する場合はラテックスアレルギーに注意が必要です。
- ・手指消毒には使用しないでください。
- ・色落ちしやすいものや腐食の恐れのある金属などには使用しません。
- ・非常にアルカリ性が高く、薄めた液でも材質によっては変色や腐食を起こす場合があることから、拭いた後は必ず清潔な布等を用いてしっかり水拭きし、乾燥させます。
- ・希釈した次亜塩素酸ナトリウムは使い切りとし、長時間にわたる作り置きはしないようにします。
- ・次亜塩素酸ナトリウムの噴霧は、吸ったり目に入ったりすると健康に害を及ぼす可能性があるため、絶対に行わないでください。
- ・製品の使用上の注意を熟読の上、正しく取り扱ってください。

○次亜塩素酸水の噴霧について

- ・次亜塩素酸水の噴霧器の使用については、その有効性及び安全性は明確になっているとは言えず、学校には健康面において様々な配慮を要する児童生徒等がいることから、児童生徒等がいる空間で使用しないでください。

○新型コロナウイルスに対して効果が確認された界面活性剤を含む洗剤について

- ・効果が確認された界面活性剤を使用している洗剤のリストが独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）のホームページ（<https://www.nite.go.jp/information/osirasedetergentlist.html>）

で公開されています。

- ・使用する際には、経済産業省及び NITE が作成したパンフレット「ご家庭にある洗剤を使って身近なものを消毒しましょう」 (<https://www.nite.go.jp/data/000109484.pdf>) を参考としてください。
- ・手指、皮膚には使用しないでください。
- ・スプレーボトルでの噴霧は行わないでください。

2. 感染者が発生した場合の消毒について

児童生徒等や教職員の感染が判明した場合には、保健所及び学校薬剤師等と連携して消毒を行います。必ずしも専門業者を入れて施設全体を行う必要はなく、当該感染者が活動した範囲を特定して汚染が想定される物品を消毒するようにします。なお、物の表面についてのウイルスの生存期間は、付着した物の種類によって異なりますが、24 時間～72 時間くらいと言われており、消毒できていない箇所は生存期間を考慮して立ち入り禁止とするなどの処置も考えられます。

消毒は上記 1 を参考に行いますが、トイレについては、0.1%の次亜塩素酸ナトリウム消毒液または消毒用エタノールを使用して消毒します。

【参考】厚生労働省のホームページにおいて、新型コロナウイルスについて、「物の表面についてのウイルスは時間がたてば壊れてしまいます。ただし、物の種類によっては 24 時間～72 時間くらい感染する力をもつと言われていています。」とされています。

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q2-1 「新型コロナウイルスについて 問1」より)

<本件連絡先>

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
03-5253-4111 (内線 2976・2918)